



平成22年度(財)岩手県体育協会 選手強化方針—地域貢献活動を競技団体が実施—

1 目 標

国民体育大会における男女総合成績(天皇杯順位)を22年度まで25位以内とすることを目標とする「岩手県体育協会選手強化3ヶ年計画」のもと、第65回国民体育大会(以下、「国体」という。)において、男女総合成績25位以内を目指す。

2 実施方針

- (1) 「がんばれ!いわて」スポーツ強化事業を目標達成に向かって効率よく推進する。
- (2) 2巡目国体等の開催を見据え、「第71回国民体育大会岩手県選手強化本部」との連携を図り、小学生・中学生・高校生及び大学生・社会人までの一貫した理念に基づき、系統的に指導する体制の構築を推進する。
- (3) 国体チーム等に対するスポーツ医・科学のトータルサポートをさらに充実させる。
- (4) 指導力及び競技力の向上を図るため、各種講習会・研修会を開催する。
- (5) 賛助会員を拡大し、選手強化に関する自主財源の確保を図る。

3 方 策

- (1) 「がんばれ!いわて」選手強化事業の推進による国体本大会競技選手の育成強化
 - ア 通常強化対策として、本大会全競技の候補選手を対象に強化合宿(県外交流)を実施する。
 - イ 重点強化対策として、過去の実績等により重点競技を指定し、天皇杯得点獲得が有望な競技の優秀選手を対象に強化合宿(県外交流)を実施するとともに、前回大会で上位入賞した競技の強化を推進する。
 - ウ 特別強化対策として、全国駅伝競走大会等に参加する選手を対象に、強化合宿(県外交流)を実施する。
 - エ 選手強化事業を効果的に推進するため、強化合宿等の視察・激励を実施する。
 - オ 選手強化事業を地域や県民と一体となった盛り上げりを構築するために、「地域貢献活動」を各競技団体が実施する。
- (2) 雪国スポーツの育成強化

国体冬季競技強化対策としてスキー、スケート、アイスホッケー競技の選手を対象に強化合宿、県外交流等を実施する。
- (3) 企業・県内大学スポーツの育成強化

企業・県内大学スポーツの育成強化対策として、実績のある優秀スポーツクラブを指定し、強化合宿(県外交流)に要する経費の一部を支援する。
- (4) ジュニア選手の育成強化
 - ア タレント発掘・育成のため県教育委員会と共催している「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」を、加盟競技団体と連携して、積極的に実施する。
 - イ 岩手県教育委員会が指定する「スポーツ特別強化指定校」の活動を支援する。
 - ウ 小中高を一貫した理念に基づき、系統的に指導する体制の構築のため、各競技団体が進めている競技者プログラムを積極的に取り入れ、一貫指導システムを構築する。
- (5) スポーツ医・科学の導入、推進
 - ア スポーツ医・科学のトータルサポートとして、国体や競技団体が実施する県外交流・強化合宿等にスポーツドクター、トレーナーを派遣する。
 - イ 国体選手を中心にアンチドーピング教育啓発活動を実施して薬物乱用・誤用の認識を高めることにより、健全なスポーツ活動の推進を図る。
 - ウ 各地区において「スポーツ医・科学講習会」を実施する。
 - エ 国体選手等のスポーツ医・科学測定・分析などの調査研究を行う。
 - オ 「スポーツ医・科学相談」事業の拡充を図る。
- (6) 指導者の養成と指導体制の確立
 - ア 競技団体の担当者の資質向上を図るとともに、二巡目国体を見据えた長期的な視野に立った指導者の育成を図る。
 - イ 競技団体の枠を超えた競技力向上のための情報交換を図るとともに、関係団体間の緊密な連携を推進する。
 - ウ 競技指導者等研修事業として、各種研修会を開催し、指導者等の資質向上を図る。
- (7) 「がんばれ!いわて」サポート事業の推進

選手の士気高揚と県民のサポート意識の涵養を図るため、賛助会員の拡大及び産業経済界の支援要請等を推進し、強化資金の確保と、強化事業の積極的な推進を図る。